IMAGINE THE FUTURE.

JUNBA2013

「国際交流を土台とした教育の国際化世界で活躍する人材を育成するために」



副学長 辻中 豊

全学で進めるグローバル人材育成の構想

確固たるアイデンティティと十分な専門性を持ちながら多様性を活かす柔軟性を発揮し、 地球規模課題の解決や、人類のグローバルな活動を牽引できる人材

「筑波スタンダード」に 基づく学士課程教育

グローバル科目群

《課題解決型の専門教育》

《グローバル・リベラル アーツ》 ■グローバル人材 30%以上

TOEFL550以上: 20% 海外留学経験者; 20%

グローバル人材として 身につけるべき能力・素養

世界を学びの場に

グローバル・コモンズ

スチューデント・コモンズ

ファカルティ・ コモンズ

アドミニストレーター・ コモンズ

「国際性が日常化」したキャンパス環境

TSUKUBA Study Abroad プログラム

グローバル30事業 英語コース 外国人留学生4,500人

筑波大学の強み・特性 = 国際性+学際性

IMAGINE THE FUTURE

University of Tsukuba

FUTURE。ローカル最適なグローバル人材の育成

地域研究イノベーション学位プログラム(概念図)

通常の教育課程 新興国を舞台に、日本の企業・団体で 活躍できるグローバル人材 修士課程 2年次 修士論文作成 (3月)修士課程 早期修了 1年次 ASEAN, 中南米, 中央アジア等の (10月修士入学後~翌年9月) 海外協定校へ留学 4年次 (10月)修士課程入学 対象地域の言語と 学士課程早期卒業 地域研究科目をイン 学士課程 3年次 テンシブに学修 (2年次後期)プログラムへの選抜 学際性・国際性に基 2年次 づく教養科目の習得、 対象地域(ターゲットエリア)の選択 語学力(英語)・コミュ 1年次 ニケーション能力強化 キャリアプラン・学修モチベーションの形成

世界とつながる。世界に広がる。

国際 交流

キャンパスの10人に1人は、外国人留学生。留学生の半数は中国。 次いで韓国、台湾、ベトナム。中央アジアからの留学生数は、日本のトップ。

*派遣・受入の数は、延べ人数(2011年度)

ヨーロッパ

学生派遣 98 学生受入 53 研究者派遣 635 研究者受入 147

CIS

学生派遣29学生受入55研究者派遣66研究者受入14

2009年~

文部科学省国際化拠点整備事業(GLOBAL30:国内13大学) 達成目標

- ·留学生数 :2009年度 1527人→2020年度4500人
- ・外国人教員数:2009年度 86人→2020年度 160人・派遣留学生数:2009年度 221人→2020年度1000人以上

2011年~ TOEFL-ITPを学士課程3年生全員に実施

ボン事務所 (ボン)

中央アジア事務所 (タシケント)

中国事務所 (北京)

筑波大学

大学

2012年~ グローバル・ラーニング・コモンズ

mission1 日本人学生と外国人学生の一体的支援 mission2 教員の国際的活動支援

mission2 教員の国際的活動支 mission3 事務職員の国際化

北アフリカ・地中海

アフリカ

学生派遣 13 学生受入 59 研究者派遣 131 研究者受入 55 中東

学生派遣 1 学生受入 26 研究者派遣 48 研究者受入 4

オセアニア

87

76

24

学生派遣

学生受入

研究者派遣

研究者受入

上海教育研究 センター(上海)

ベトナムホーチミン 事務所(ホーチミン)

アジア

学生派遣 114 学生受入 1,599 研究者派遣 968 研究者受入 472 北米

学生派遣 82 学生受入 20 研究者派遣 526 研究者受入 99 中南米

グローバル

化への取組

学生派遣 5 学生受入 41 研究者派遣 49 研究者受入 20

海外 拠点

世界6か所に海外事務所を設置し、留学生獲得、海外インターンシップ、学術交流を推進 (「地球文明発祥地帯」を中心に捉えた世界的「知」のネットワークによる多角的な国際交流を展開)

IMAGINE THE FUTURE.

つくば国際戦略総合特区



4つの先導的プロジェクト

ライフイノベーション

Project① : 次世代がん治療(BNCT)の開発実用化

- ◆画期的次世代がん治療(BNCT)の実用化
- ◆国際標準化し、医療関連産業の国際展開

【参画機関】

筑波大学、高エネル ギー加速器研究機構、 日本原子力研究機構、 北海道大学、企業、茨 城県



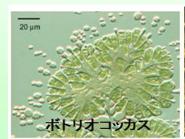
グリーンイノベーション

Project③: 藻類バイオマスエネルギーの実用化

- ◆石油代替燃料として期待の藻類バイオマスの実用化
- ◆世界的エネルギー問題の解決に貢献

【参画機関】

筑波大学、藻類コンソシーアム、 つくば市





Project② : 生活支援ロボットの実用化

- ◆生活支援ロボットの安全性評価基準を確立
- ◆国際標準化により、ロボット産業の国際競争力を牽引

【参画機関】

産業技術総合研究所、日本自動 車研究所、筑波 大学、企業等



装着型ロボット

Project④: TIA-nano 世界的ナノテク拠点の形成

- ◆国際競争力ある世界的ナノテク拠点を構築
- ◆画期的な省エネ機器等の開発や人材育成を推進

【参画機関】

産業技術総合 研究所、物質・ 材料研究機構、 筑波大学、企 業





IMAGINE THE FUTURE.

筑波大学の特質



建学の理念:開かれた大学





約300の研究機関 外国人研究者**4,700**名

28研究機関企業との連携大学院



多彩な専門性と学際性



多様な国からの留学生 82カ国・**2,089**名



国際的で充実した 学生宿舎 約4,000戸

キャンパスの中で世界の多様性を実感 キャンパスと海外が直結した学びの場

「世界を学びの場とする」真のユニバーシティへ! 全ての学生にグローバル人材を目指し、 学び、研鑽する機会を!